

経営比較分析表（平成29年度決算）

福井県越前町 国保織田病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	10	-	ド訓	救
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
22,018	4,216	第2種該当	10:1	

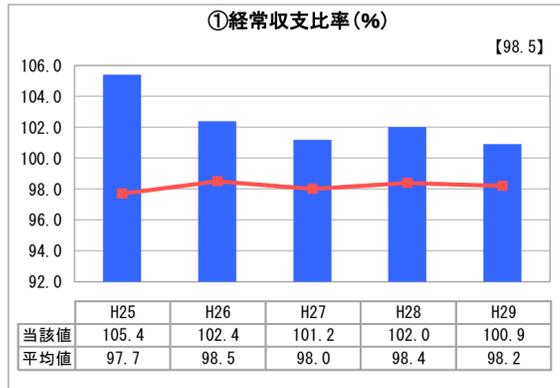
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

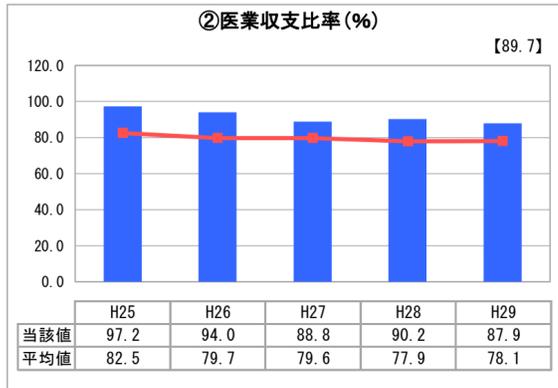
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
55	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	55
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
55	-	55

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【】	平成29年度全国平均

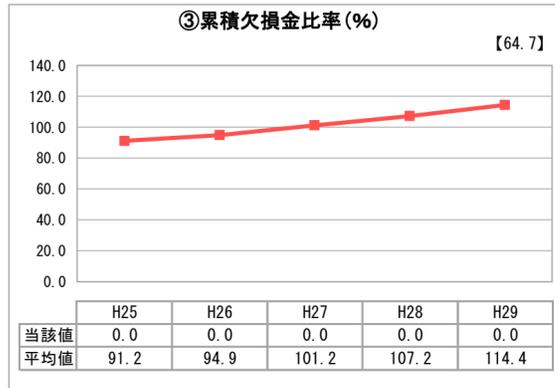
1. 経営の健全性・効率性



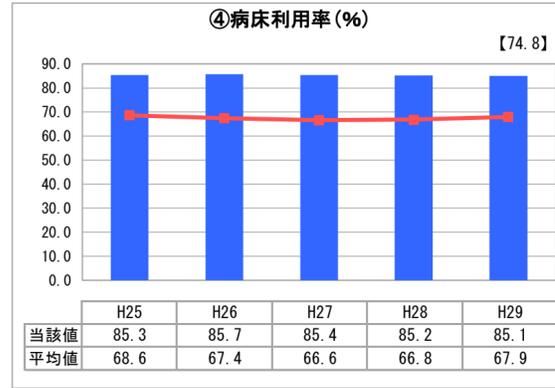
「経常損益」



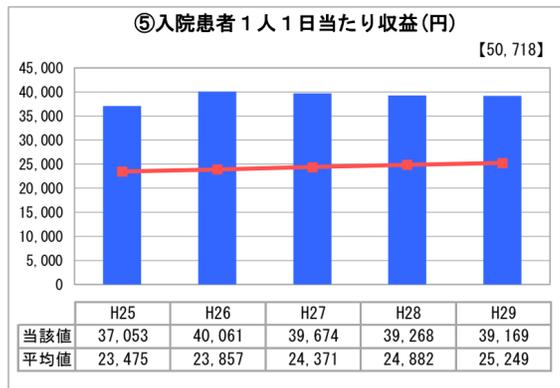
「医業損益」



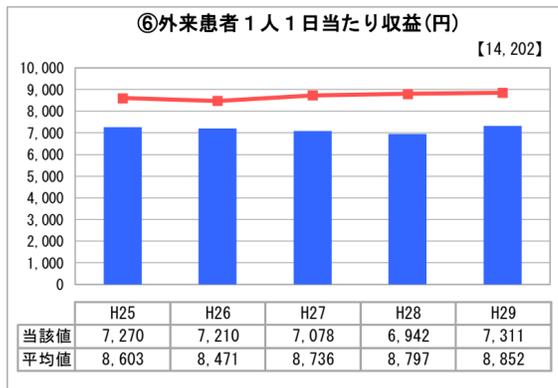
「累積欠損」



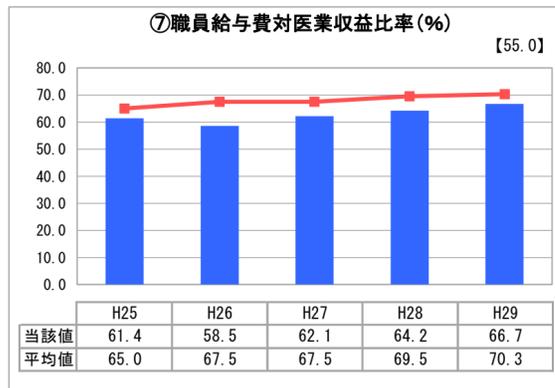
「施設の効率性」



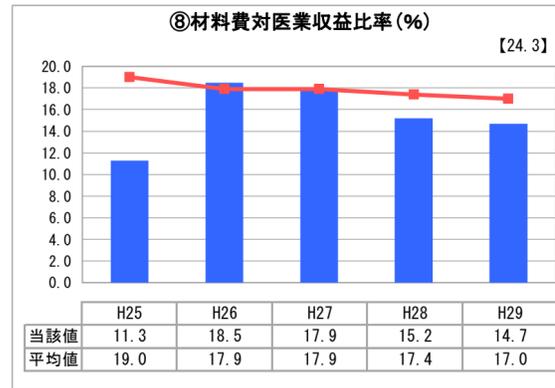
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

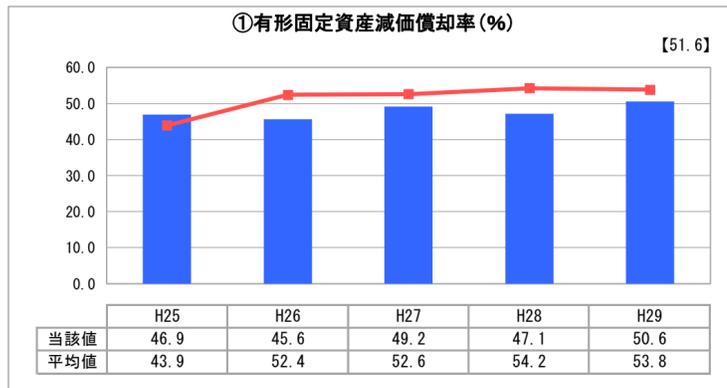


「費用の効率性①」

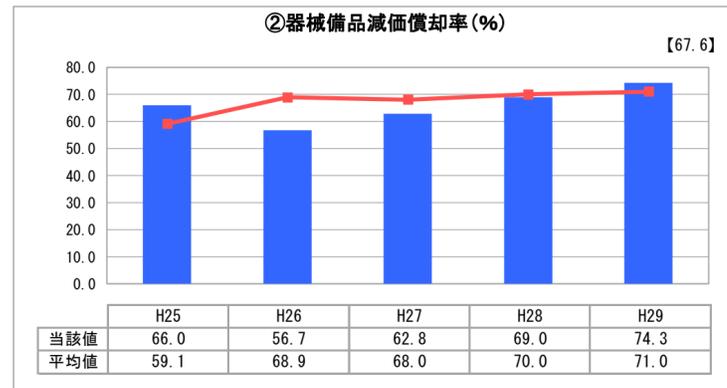


「費用の効率性②」

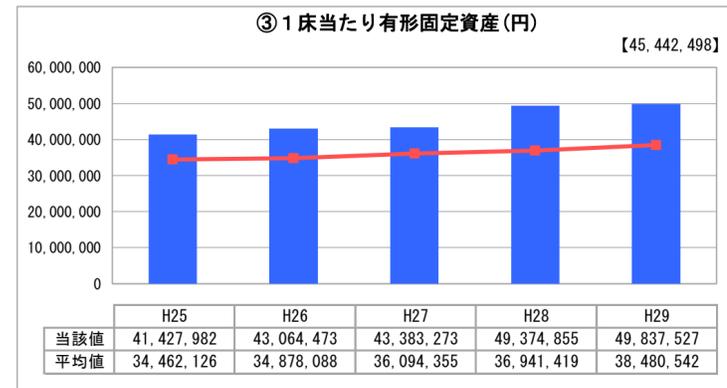
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

丹生郡唯一の公立病院として、地域の住民に安心・安全な医療を継続的に提供できる急性期の医療機能を担い、さらに地域包括ケア病床による回復期の医療機能の一部を担う。また、へき地医療、救急医療、災害時医療など不採算部門における医療の提供も担う。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については100%を超えているが、他会計負担金の一部を担っている。
 ④ 病床利用率、⑤ 入院患者1人1日当たり収益は、平均を上回っているが、⑥ 外来患者1人1日当たり収益は平均を下回っている。これについては、全体の割合で年配の方が通院で通う比率が高いことが理由として考えられる。
 ⑦ 職員給与費対医業収益比率、⑧ 材料費対医業収益比率は平均をやや下回って推移している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産の減価償却率は、ここ数年においては平均値を下回っているが、器械備品の減価償却率は、年度においては上回っている。どちらもゆるやかな増加傾向にある。1床当たり有形固定資産については、平均値をやや上回っている。
 建物建設から20年以上が経過し、今後とも老朽化が進むことから、器械備品等の老朽化による更新については、適切で計画的に進めるよう努める。

全体総括

経営の健全性・効率性について、当町の病院事業は、平成24年度に指定管理制度の導入以降、健全で効率的な運営を行っており、概ね良好と判断できる。
 しかし、施設の老朽化が進んでいることや、人口減少による地方交付税の減少に伴い、他会計からの負担金も減少傾向となることが見込まれる。
 今後の経営環境は厳しさを増すと見込まれることから、中長期的な視野に基づき、計画的な人員確保や機器入替に努めていく必要がある。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。